

株式会社ジェイコム湘南・神奈川 町田・川崎局

2020年度 放送番組審議会 議事録

2020年度の放送番組審議会は、2021年3月25日(木)に町田・川崎局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

沖本 里恵 様	遠藤 雅子 様	小山 均 様
北條 秀衛 様	宮本 紀昭 様	横田 まさお 様

事業者側から局の現況、及びJ:COMチャンネル(11ch)とJ:COMテレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(北條会長による進行)

委員 ジェイコムの会社の強みを生かし、人の思いや暮らしにフォーカスした情報発信をしていると感じた。これからもそのような思いを大切にした番組作りをしてほしい。また、以前、台風情報を緊急L字放送できめ細かく放送していた。災害時は行政のサイトなどがパンクすることもあるので、今後も有事の情報について、ていねいに出してほしい。

事業者 地域のきめ細かい情報を提供することは、我々の使命だと思っている。情報を出す優先順位は、今でいえばコロナ関連情報や生活安全情報。さらに今後は地域の解決すべき課題なども取り上げていきたい。災害時は一人でも多くの地域の人たちに情報を届けたいので、情報提供含め行政と連携し、L字放送へ視聴誘導するようにしていきたい。

委員 地域の幅広い情報を取り上げているようだが、どのように情報収集しているのか

事業者 行政から情報を提供していただいている他、番組制作担当者は各ジャンルの情報入手先を一覧にまとめ、情報収集に努めている。特に災害時はどこに問い合わせればどの情報が入手できるかをリスト化している。いざというときに速やかに情報収集出来るようにしているが、情報プラットフォームをさらに成長させることが課題と感じている。

委員 行政からの情報提供はもちろんだが、多くの市民団体の活動も活発なのでイベントなどの情報提供をしたい。どのように情報提供すれば良いか。

事業者 局には地域プロデューサーという窓口があるので、そちらに情報提供いただきたい。もちろん団体からも直接情報提供いただければと思う。ジェイコムの特集からも取材申し込みが出来るようになっている。情報提供いただいた後、どのような発信方法があるか検討させていただく。

委員 自分たちもコロナの中、何が出来るのかを考えている。ただし、「行う」ことだけでなく、「どのように行うのか」が重要。番組も同じで、行政からのコロナ情報を放送するだけでなく、掘り下げた内容を伝えるのが報道の役割。もっと番組として出来ることがあるのではないか。

事業者 今、どのような情報をどのように伝えるべきか。掘り下げて伝えるべき内容はなんなのか？常に考えながら放送している。有事の際は私たちだけでは情報を拾いきることができないので、ネットワークづくりが大切。地域からの情報が最も重要と考えており、地域特派員なども検討している。

事業者 委員の皆さまからのご意見、活発な審議ありがとうございました。今後の番組制作に役立てていきたいと思っております。

以上